

みやぎ復興パーク通信

MIRAI 株式会社 編

今回は、みやぎ復興パークに入居されている MIRAI 株式会社をご紹介します。
取材にあたり取締役社長 野澤 永光氏にお話を伺いました。

＜事業概要＞

MIRAI 株式会社（以下、「MIRAI」という。）は平成 27 年 11 月に設立。現在、二つの植物工場（多賀城工場（宮城県）、柏の葉工場（千葉県））で、葉物野菜を生産しています。生産者として「お客様の喜ぶものを誠実に作り続ける」を経営方針として、LED 照明を使った閉鎖型植物工場で、グリーンリーフ、フリルレタス、バジル、クレソンなどを中心に、スーパーマーケットの惣菜やコンビニのサンドイッチなどの業務用野菜を生産し、販売も手掛けています。

植物工場は、露地栽培に比べ、土地面積あたりの生産性が非常に高いという特長を有しています。また、外気に触れないため、農薬を使用せず、虫などの異物混入もなく安心・安全な野菜を育てることができます。さらに、天候にも左右されないことから、安定した価格と生産量で、高品質な野菜生産が可能です。

当社は植物工場の運営から葉物野菜の販売まで一貫した取り組みにより、多様なノウハウを蓄積しています。長年培った「生産・工場運営・流通ノウハウ」を活かし、野菜の生産販売のほか、独自開発の野菜工場設備の販売や事業プランニングも手掛け、工場運営コンサルタント事業も展開。事業エリアは国内に留まらず、ロシアや中東のほか、近年、生野菜を食す文化が浸透してきた中国など、海外展開も図っています。

その一環として、完全人工光型植物工場の分野で、日本国内外で高まっている「植物工場やさい・生産システム」の需要増に応えるべく、平成 31 年 3 月に千代田化工建設株式会社と業務提携契約を締結し、積極的に事業を推進しています。

＜MIRAI のスタート＞

国の後押しもあり、同業他社が植物工場事業に参入していますが、植物工場の管理や運営の難しさ、生産の高コストなどによって、多くの事業者が経営に苦しんでいる状況にあります。当社も平成 16 年に創業した株式会社みらいが、平成 27 年に民事再生法の適用を受けるに至りましたが、通信・電設資材等の製造販売を手掛けるマサル工業株式会社（東京）の支援により、平成 27 年 11 月に社名を「みらい」から「MIRAI」に変え、事業再生に成功しています。

《みやぎ復興パークでの展開》

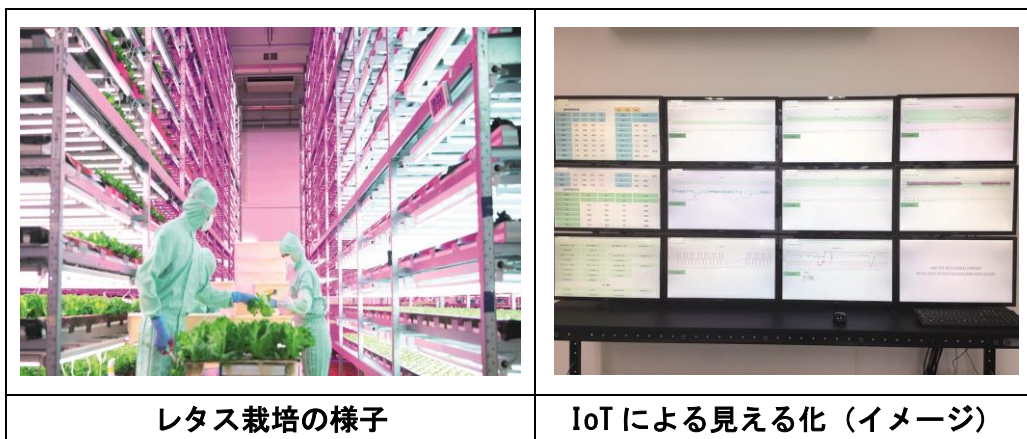
当社は生産性の高い植物工場を事業モデルとして確立することによって、新産業を創出し、被災地の経済復興につなげると考え、みやぎ復興パークに入居しました。

多賀城市近隣から社員やアルバイトを雇用するなど、地域にも貢献しています。

当社は、植物工場のトップランナーとして、野菜の生産販売や工場設備販売を行っています。さらなる生産性の向上と低コスト化を目指し、IoTを活用した「儲かる植物工場」を実現するため、平成27年度「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金（以下、「ものづくり補助金」という。）」を活用し、多賀城発の生産管理システムの開発を行いました。ものづくり補助金の申請にあたり、みやぎ産業振興機構は認定支援機関として支援いたしました。

ものづくり補助金で導入したIoTシステムにより、センサーやカメラなどの計測機器で得られる測定値を解析ソフトでリアルタイムに分析することができるようになりました。このことで、作物ごとの最適な環境レシピの確立を実現したほか、各制御項目の詳細なデータがパソコンでも確認できるようになったため、栽培環境の管理や遠隔操作も可能となりました。この結果、これまでと同じ稼働（24時間365日）で、大幅な生産量の増加を実現いたしました。

ものづくり補助金で開発した生産管理システムは、自社工場の運営に活用する以外に、独自開発の植物工場設備として、国内外のユーザーに販売する事業も展開しています。みやぎ復興パークの多賀城工場で組み上げた装置システムや栽培・工場運営ノウハウをモデルケースとして、多賀城から国内外に植物工場の普及を進めています。



《今後の展望》

当社はそれまで、植物工場のシステムを売ることに力を入れてきました。平成29年に社長に就任した野澤 永光氏は、もう一度足元を見つめ直し、「野菜を売る」ことに注力。野澤氏は、「生産した野菜をきちんと売り切って利益を出せるモデルにしたかった。本業はあくまでも野菜の生産者であるということ。そこに立ち返ろうと思いました。」と熱く語っています。

これからますます、植物工場で作られた野菜が流通していくと考えられる中、当社は安全面や衛生面への対応強化が、業界全体の課題であると捉えています。

当社は、植物工場事業に必要な「生産・工場運営・流通」のノウハウを強みに、植物

工場のトップランナーとして課題への対応とともに、「儲かる植物工場」事業の実現を目指していきます。

◀MIRAI 様からのご挨拶▶

全国の市場で流通しているレタスは、約 58 万トンでそのうち 3 %が植物工場で生産されています。

40 年前は植物工場野菜を育てることなど考えられませんでした。今後、新しい技術がさらに開発されていくと思います。

大切なのは、そのときまでに MIRAI を含め、植物工場という業界が残っていることだと思います。そうすれば、今は植物工場栽培ができない根野菜や漢方・医薬品の原料となる作物を育てる、こういったことができるようになるかもしれません。

みやぎ復興パークの多賀城工場にある IoT システムをフルに活用しながら、これからも新たな開発にチャレンジしていきます。



◀MIRAI 株式会社▶

設立：平成 27 年 11 月 2 日

資本金：7,550 万円

従業員：100 名

本社・柏の葉工場：千葉県柏市青田新田飛地 221-1 (Tel 04-7192-6655)

多賀城工場：宮城県多賀城市桜木 3-4-1 みやぎ復興パーク F30

(みやぎ復興パーク・令和元年 5 月の状況)

○入居団体数・・・・・・・・ 17 団体 (入居率 49%)

【発行及び復興パーク通信のお問合せ先】

公益財団法人みやぎ産業振興機構 地域連携推進課

〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目 14 番 2 号

TEL 022-225-6638 FAX 022-263-6923